



昨秋の京都反戦集会で話す重信さん

ユダヤ系資本やAIPAC（アメリカイスラエル公共問題委員会）など

のイスラエル・ロビーの支援を受けた議員は、イスラエルを擁護する。悪口を言つたら落選運動をされて落とされていく。

戦略的にシオニストとされ

る人を減らす。シオニズムと帝国主義支配が共存共栄してゐるわけです。シオニズムの登場からそれを利用し、ユダヤ資本という巨額な金をあてにして、アメリカも各国も戦争してきました。

2007年にジョン・

ミヤシライマー教授（シカゴ大学）が、『イスラエル・ロビーとアメリカの外交政策』という本の中で、詳しいデータを駆使して、アメリカでイスラエル・ロビーを離れて議員になることは難しいこ

とを示しました。

ユダヤ系資本やAIPAC（アメリカイスラエル公共問題委員会）など

のイスラエル・ロビーの支援を受けた議員は、イスラエルを擁護する。悪口を言つたら落選運動をされて落とされていく。

戦略的にシオニストとされ

る人を減らす。シオニズムと帝国主義支配が共存共栄してゐるわけです。シオニズムの登場からそれを利用し、ユダヤ資本とい

う巨額な金をあてにして、アメリカも各国も戦争してきました。

2007年にジョン・ミヤシライマー教授（シカゴ大学）が、『イスラエル・ロビーとアメリカの外交政策』とい

う本の中で、詳しいデータを駆使して、アメリカでイスラエル・ロビーを離れて議員になることは難しいこ

とを示しました。

ユダヤ系資本やAIPAC（アメリカイスラエル公共問題委員会）など

のイスラエル・ロビーの支援を受けた議員は、イスラエルを擁護する。悪口を言つたら落選運動をされて落とされていく。

戦略的にシオニストとされ

る人を減らす。シオニズムと帝国主義支配が共存共栄してゐるわけです。シカゴ大学のジョン・ミヤシライマー教授が、『イスラエル・ロビーとアメリカの外交政策』とい

う本の中で、詳しいデータを駆使して、アメリカでイスラエル・ロビーを離れて議員になることは難しいこ

とを示しました。

ユダヤ系資本やAIPAC（アメリカイスラエル公共問題委員会）など

のイスラエル・ロビーの支援を受けた議員は、イスラエルを擁護する。悪口を言つたら落選運動をされて落とされていく。

ガザ反戦弾圧と闘う若者たち

かなければならぬので

かなければならぬので

かなければならぬので

かなければならぬので

かなければならぬので

かなければならぬので

かなければならぬので

虐殺の背景に油田などの資源略奪

パレスチナの領土 자체も略奪対象

中心に、イスラエルに対するアメリカの大学生たちが、学内占拠やデモなどの活動を広げています。これらに注目していく必要があります。

重信：中東地域には資源

オストロ合意では、95年

に資源の活用を話し合つたこともあります。イス

ラエルがパレスチナに

油田探査地で、それら

編…今、ユダヤ人学生を中心

として、アメ

リカの下院で、

反ユダヤ主義

をやっていたグループを

いし、使えないとか、そ

民主義の危機として、学生たちが立ち上がりざるを得ない状況になつてい

るんですね。それらをもう一度とらえ返す必要があるんじゃないかな。

ドイツで右派が伸びて来たのも、政府のイスラエル無条件擁護が反パレ

スチナ、アラブフオビアを産んでいるためでしょ

う。この間見えて、ド

「反ユダヤ主義」悪しき定義拡大

重信：私はイスラエルとアラブファートが秘密交渉した「オスロ合意」も、履行していません。

1993年の「オスロ合意」も、履行していません。

アラブ側のこれまで主張

してきた「包括的和平」

（パレスチナ問題の解決なしにイスラエルと国交を結ばない）から、イスラエルが主張してきた「单独和平」（個別アラブ諸国と国交を開き、その後パレスチナ問題を解決する）に変わったと思います。

アメリカの安保理拒否権行使と同時に「オスロ合意」のネガティブな要素が、イスラエル国家の国連決議無視や占領に合

法性を与えてきたと思つてゐるんです。

これまで1970年代には、イスラエル国家を承認する国とPLOを承

認する国の中では、五分五分よりイスラエルの方が少ないくらいだつたん

です。そういう70年代を経て、イスラエルは米国がレーガン政権のときにハイテク産業の基礎となる財政的、技術的なライ

スンスをもらいながら成長してきたわけです。

ガザへの妨害

重信：そこからパレスチナの資源的、経済的争

点は？

重信：中東地域には資源

オストロ合意では、95年

に資源の活用を話し合つたこともあります。イス

ラエルがパレスチナに

油田探査地で、それら

の調査をやつていたところなんですね。

アラファートが生きてい

り、アラファートが生きてい

るときに、この土地を開発することをイスラエル

のラビン首相が95年に暗殺されたことで、どんどんオストロ合意が後退して

いく過程で、リクード党（シャロンやネタニヤフ）が権力を取っていきます。

そうするとシアラモンの政策で分離壁を作つて、それを取り囲んで戦略的拠点に入植地をどんどん

作つていくんですね。それが、これもイスラエルの妨害で開発がされずにきました。

去年になり、ネタニヤ

ラエル自身が、右翼を育てている気がします。

民主義の危機として、学生たちが立ち上がりざるを得ない状況になつてい

るんですね。それらをもう一度とらえ返す必要があるんじゃないかな。



重信房子さんと娘のメイさん

女性参画という」とで何かやつてましたけど、男性の補助としての女性という形でしか問題設定されていなかった。

重信：「変わっていると」「
ろはたくさんあります。
去年の憲法記念日に有明
で集会があつたんですが、
発言者に男性がほとんど
いなかつたんです。メイ
ンスピーカーも女性でし
たし、共産党は志位さん
がスピーチしましたが、
あとは社民党も立憲民主
党も、みんな女性だつた

編：重信さんから活動されて
いた60年代の運動体どう
今の運動体で、女性の状
況の変化は感じますか？

2・女性として、活動家として

が出てきて、橋本聖子が出てきてみたいな。全部男性社会が作り出す女性なんですね。

海外での「自分で考え、自分で行動し」、結果として女性がトップに立つたり、結果として男性だつたりという考え方と、随分日本はかけ離れている。

60年代からジャンプして、日本の元気社会二〇

い、昔の家父長的社會の核は変わつてないと実感していますね。

から、メイには申し訳なかつたなという思いがあります。私はメイが生まれてすぐ活動に走り回らないといけなかつたので。メイが3才位の頃、私がカバンを持たないで出かけようとするとくつついて来るんだけど、大きいカバンを持つと「行ってらっしゃい」って言うんですね。それはもう連れて行つてもらえないからつていうね。本当にいろんな場面で（メイに

は) 我慢を強いてきた。
今やつてあげられることはほとんどないんです
やつてもらうことばかり
あの時代に、もつと一緒に
に生活できる条件があれば良かつたなどという意味
での反省はあります。
けど、当時は闘いに冒
善を尽くし、自分のことは後でしたから、ほとん
ど会うことはなかつた
私が一緒にいたら、彼女
を危険にしてしまうとい
う保安・防衛上の観点な

私たち親子やドイツの親子を扱ったドキュメンタリー映画「革命」ともたち」の中で、イガ、「物理的に母親と一緒にいる時間は少なかつたけど、関係としてはても良かつた」といいます。彼女がアオクライの夫で、私たちが赤軍といふことです。

放のために闘っていると
話したら、「あら、随分前
から知つてたけど、あなた
たちが知らせたくない
みたいだつたので、知ら
ないフリしてただけよ」つ
て言われて（笑）。

「大人を守らなくちゃ
この人たちはちよつとア
ラブ社会には疎いので
という感じで、なんか非
常に助けてくれる娘で
たね。随分助けられたな
というのが実感です。

好奇心、樂觀的、使命感と正義感などにおいても自分らしく生きる事

編…パレスチナで30年間
も闘つてこれたのはなぜ
でしょうか？

感があつたと思うんです
よね。ベトナムに平和を
実現しなければと立ち上
がつた人たちもそうです。
それは私も持つていたし。
闘つた人たち、遠山さ

かスピーチしましたが、あとは社民党も立憲民主
党も、みんな女性だった

ただ、発言者たちはすくなく自立した女性たちで、他の分野は変わつていません。安倍首相がクリントン夫人を呼んで、女性参画ということで何かやつてましたけど、男性の補助としての女性という形でしか問題設定されていなければ見え見えで、父の影響もあつたし(笑)

重信：育ち方というか性格というか、まず好奇心が強いんですね。子のものとくから、どこに行ても楽しいことを探すことの風で、きっとそのときは大変だし、辛いと思ってると思うんですけど、振り返るといふことしきい出さない。まあ樂観的なんでしょうね。

田さんとかが切り開くことを夢見ていたものを、私が引き受けたやつで、かなきやという思いもありました。だから「べき論」もないし、いいことはいい、悪いことは悪い。間違つていたら反省して謝ればいいという、意外と

生き方としてありました。今もそうですけどね。

編…これからを生きる
い活動家たちへメッセージ
をお願ひします。

間違つたらいい

繩…これからお世話ね新
い活動家たちへメッセー
ジをお願いします。

て、新しい経験をする
と、新しいことにチャ
ンジすること。新しい
に出会うこと。経験を
げることで自分を対象
する領域が広がるし、
象化できないと過ちを

二 人 レ 広 化 対 よ

ら変えたらしいという自由度だと思います。社会の同調圧力や目線を気にせず、自分らしくやっていけばいいという風に気軽に考えてやっていくてほしいなと思います。